

令和2年（2020）4月から、新会場の京都市の国際交流会館です。

京都ヲシテ講習会

まっとうな話です、『ホツマツタエ』や『ミカサフミ』など、『古事記』『日本書紀』の原書の「ヲシテ文献」を、原字と原文から説き起こします。ホントの、わが国の真実を、分かるようにします。『ホツマツタエ』や『ミカサフミ』など「ヲシテ文献」は、『古事記』『日本書紀』の原書としての、証明も、すでにおこない終えています。何でも、お聞きください。本当の国学の「ヲシテ国学」の創始です。

Wo shi te (ヲシテ：日本固有文字、ヲシテ文献：日本固有文字文献)



それは、昭和の41年(1965)の昔に遡ります。神田の古書店でたまたま見つげられた、写本から、話が始められました。

偶然に古本の市場で、3アヤ分の『ホツマツタエ』を発見・購入された松本善之助先生は、ビックリされたのでした。こんな大切な、文書が、本当にあったのか??!! です。

わたくしも、その、発見の現場に遭遇していたら、同じようにビックリします事です。

松本善之助先生は、すかさず、全国各地に全巻の探索をするべくアンテナを張り巡らされました。それが偉いところですよ。さすが、松本善之助先生です。わたくしには到底及びもつきません。

そう言うことがあったから、して翌年、昭和42年(1966)の夏の事です。とうとう、『ホツマツタエ』の40アヤの全巻の写本の発見が起きました。そこは、畿内とは遠いところでした。なんと、四国の宇和島で、『ホツマツタエ』の全巻の写本に遭遇されるのでした。それから、まさしく艱難辛苦の連続です。松本善之助先生は、昭和54年(1979)に『秘められた古代日本史ホツマツタエ』、昭和59年に『続・秘められた古代

日本史ホツマツタエ』を出版なさいました。合計、10万部近くにまで販売したにもかかわらず、正当な理解者はほとんど出て下されませんでした。

もちろん、探求は続きます。最も古い40アヤの揃いの『ホツマツタエ』の写本は、平成4年（1992）に、滋賀県の高島市で発見されました。そこで、私（池田 満）にバトンタッチがおこなわれました。『古事記』『日本書紀』との比較の、『定本ホツマツタエ』や、『ホツマ辞典』、その他の解説書を出版して、本当の「国学」の樹立を目指しています。



講師 池田 満 (いけだ みつる)

日本ヲシテ研究所所長 <http://woshite.com/page1.html>

ホームページ <http://www.zb.ztv.ne.jp/woshite/index.html>



日時 毎月第4土曜日 13:00~16:00 (開場 9:30~ヲシテの読み書き・勉強)

場所 京都市国際交流会館 京都市地下鉄東西線蹴上(けあげ)駅から徒歩6分

京都府京都市粟田口鳥居町2-1 (地図は裏面)



参加費 2,000円 (令和2年(2020)4月から、新会場の京都市の国際交流会館です)

お申し込みは、<https://woshite.wixsite.com/kousyuukai/about> 「お問い合わせ」から。